



グローバル COE 物質科学イノベーション講演会

演題：外場を用いた新しいセラミックスプロセス

講師：打越 哲郎 先生

(独)物質・材料研究機構

先端材料プロセスユニット

微粒子工学グループ グループリーダー

日時：2011年7月22日（金） 15：30～16：30

場所：工学部材料・化学棟 5F 大会議室（MC526）

要旨：

液中に分散したセラミックス粒子懸濁液に 10T 級の強磁場と \sim kV/m の電場を印加し、結晶磁気異方性を利用した粒子の磁場配向と、電場による粒子のマニピレーションを同時に行なうことで、結晶方位と高次構造の双方が制御された配向多結晶セラミックスを作製するプロセスの基礎と応用例について紹介する。

連絡先：工学研究院物質化学部門 吉川信一（内線：6739）